

GREEN ニュース

行動する
環境アドバイザーの会報

第69号

環境アドバイザー連絡協議会
代表 須永 徹
平成 29 年 3 月発行

雨上がりのホトケノザ



生き物は必要なものを美しいと感じるのか、人が宝石に寄せる想いは、こんな雑草が輝く瑞々しさと変わらず同じものかもしれません。

群馬県環境アドバイザーの動き

(平成 29 年 3 月 20 日現在)新規登録 93 名

第 10 期(登録期間:平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)です。新規登録者を含め平成 29 年 3 月 20 日現在、男 215 名女 89 名、計 304 名です。

自然環境部会 72 名 温暖化・エネルギー部会 49 名

ごみ部会 42 名 広報委員会 20 名が登録し活動されています。

送付方法、メール 162 名 封書 142 名

目次(執筆者)

表紙画像・文 太田市 中島 沙織さん

P2 環境政策課

P3 代表 須永 徹から

P4 ごみ、温暖化・エネルギー部会から

P5 自然環境部会から

P6 地域 太田市 西村 豊さん

アースディ in 桐生 案内

P7 地域 高崎市 藤森 昇さん

P8 地域 安中市 吉澤 敏則さん



ぐんまの環境をみんなで考える県民ミーティングの開催について

本県のかげがえのない自然を次の世代へ引き継いでいくため、ぐんまの環境を県民の方々と考える県民ミーティングが群馬県環境政策課主催により県内5会場で開催され、合計185名の方々が参加されました。

この県民ミーティングにおいて、県内各地で環境活動に取り組んでいる群馬県環境アドバイザーを代表して5名の方が県民、NPO 又は事業者の立場のパネリストとして招待され、パネルディスカッションを大いに盛り上げていただきました。



角田 和男氏(左)・阿部 倫典氏(右)
沼田会場 1月28日(土)



渡 陽平 氏
中之条会場 2月4日(土)



須永 徹 氏
太田会場 2月10日(金)



吉澤 敏則 氏
高崎会場 2月11日(土)

「群馬県環境にやさしい買い物スタイル」店頭啓発活動について

群馬県環境アドバイザー連絡協議会では、レジ袋削減のため、スーパーなどの店頭でマイバッグキャンペーンとして啓発資料の配布・声掛け運動を実施しています。

今年度はこれまでに前橋市で1店舗、高崎市で3店舗、太田市で3店舗、安中市で6店舗、沼田市で2店舗、館林市で2店舗、桐生市で1店舗、みどり市で1店舗、富岡市で5店舗、下仁田町で1店舗、吉岡町で1店舗の合計26地点の実施申込みがありました。

この県民運動には多くのアドバイザーに参加いただき、一般市民へ温暖化防止やごみの減量などを直接訴えることができました。また、各地区でのアドバイザー同士の顔合わせにもなり、非常に意義のあるキャンペーンとなっております。

御参加いただいた皆さまへ御礼申し上げますとともに、引き続き御協力をお願い致します。

詳しい内容についてのお問い合わせは事務局（群馬県環境政策課）までお願い致します。

担当：松原、古屋

電 話：027-288-2827

電子メール：ecosusumu@pref.gunma.lg.jp

新年度に向けて

群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 須永 徹

いよいよ今期も残すところ1年となりました。

今期に出来たことや出来なかったことなど色々ありますが、残る1年で出来なかったことを一つでも達成したいと思います。

① 若いメンバーの確保

先の幹事会で大学等へ話をしたらどうかというご意見を頂きましたので、前橋・高崎地区を中心に学校へお願いに伺ってみるつもりです。

② 地域ごとのメンバーの充足

県内在住者で環境問題に関心がある人の発掘を、特にメンバーのいない地域でどう行うか。それにより地区ごとの活動の活性化につながればと思います。皆さんのお力添えをお願いしたいところです。

③ 環境イベントへの出展

県の環境フェアへは出展していますが、他の環境イベントへも環境アドバイザーとして出られるものへは出展を行う。地域情報が重要ですので、お住いの地域イベント情報を事前に把握して頂ければと思います。

④ 部会出席者の増

どの部会も出席者が固定化されているようですので、せっかく環境アドバイザーに登録して頂いた方を積極的にお声がけして部会参加を促して参りたいと思います。

以上、思いつくままに書いてみましたが、群馬県の環境アドバイザーが更なる発展をしていくための施策として、皆様のご協力をお願いいたします。



ごみ部会だより

ごみ部会 活動報告及び方針

ごみ部会は、おおよそ月一回のペースで部会を実施しています。会場は「前橋元気 21」の3階、通称Mサポのブースが最近では多くなっています。簡単に予約できることと、駐車場が5時間まで無料と恵まれているためです。話し合いのテーマは各地、各人の活動状況、日頃感じていることなど、ごみの減量に関するものであれば何でも話し合っています。部会登録者は39名（2016年9月現在）ですが、部会の平均参加者は7人位と言うのが現状です。これを最低でも10名位にしたいと思います。部会の見学、参加者および新規登録者を募集しています。ごみ問題に関心ある方の参加をお待ちしています。

今後の活動方針ですが、群馬のごみの減量を目指して「みんなのごみ減量フォーラム」に取り組むこと、また「環境にやさしい買い物スタイル」を促進し、レジ袋を削減する活動に取り組みます。「みんなのごみ減量フォーラム」はごみ部会が中心となって準備を進めてきましたが、群馬県環境アドバイザー連絡協議会と県の共催であることを念頭に置き、ごみ部会としての独自活動も強化してゆきたいと思います。どんな独自活動に取り組むかは、今のところ未定ですが、ごみ減量の勉強会や行政への働きかけ、他のボランティア団体との連携など、今後の話し合いの中で決めてゆきます。いずれにしても、ボランティア活動の一環なので「緩く？楽しく？」をモットーに部会を運営してゆきたいと思っています。

ごみ部会長 山田一朗

温暖化・エネルギー部会だより

新年度に向けて

皆様梅開花の便りが聞かれる昨今ですが如何お過ごしですか、本日は私が気付いた事を述べたいと思います。日本では環境報告書が企業報告書の必須添付になっておらない事です。財務諸表は必須ですが環境報告書又はCSR報告書は努力目標となっております。

東証上場企業約2800社のうち800社ぐらいしか環境報告書が公開されておられません。〔参考 経産省環境報告書プラザ〕これから類推すると環境に配慮した経営、いわゆる環境経営実現の道はまだ途中の感が致します。

私は15年程以前にドイツを基盤にした多国籍企業のannual reportを読みましたがそれには添付されておりました。公害国会、環境法制又は技術開発等によって環境先進国と呼ばれた日本企業の企業姿勢が問われると思います。

さて皆様はマラケッシュのCOP22の議事をご存知ですか。日本はオブザーバでしか参加出来ず世界の輦轡を買ったと思います。またジャーナリズムにもあまり討議内容は掲載されず気温上昇2度と理解されていると思います。実は1.5度が目標となっております。

また2018年COP24までに各国はルール作りの工程表を作らなければなりません。1年もないのです。これから各国からエネルギーの脱炭素化のシナリオが出されるようです、これは我が国はあまりにも世界の趨勢から遅延しているとおもいます。

〔参考 web, CAN Japan 主催 COP22 報告会〕

温暖化・エネルギー部会長 加藤 幸輝

自然環境部会だより

今年度の活動報告と新年度の課題

自然環境部会の活動は以下の通りです。

1. 2ヶ月に一度の例会。基本的に奇数月の第二土曜日に前橋市市民活動支援センター（Mサポ、元気 21）で実施しています。

2016 年は 1 月 9 日、3 月 12 日、5 月 14 日、7 月 9 日、9 月 7 日、11 月 5 日、の 6 回実施しました。なかなか参加者が集まらない時もありましたが、魅力ある活動としたいので皆さんのご協力と積極的な提案をお願いします。

2. 各地区の自然保護関連活動や情報の紹介・共有

主に例会時に行っていますが、それ以外でも随時お知らせ下さい。他地区の活動実態は参考になる事も多いと思います。

3. 高山村共有林の手入れ

「会のメンバーと一緒に活動できる場を」という事で始め、一時中断していましたが復活させました。下草刈り、クズのツル切り、下枝整理など今年度 6 回実施しそれなりの成果があったと思います。やや遠方なのが難点ですが、気持ちの良い高原で作業でき、春は花見、秋には栗拾いなどの楽しみもあり、新年度も実施しますのでご参加下さい。

部会員以外の方の参加也大歓迎です。

4. 見学会など

今年度はみどり市の方のご協力で絶滅危惧種の「カッソウ」見学会を実施しましたが、新年度も行いたいと思います。これ以外にも見学会、勉強会などの機会を設けたいと考えています。

5. その他

高山村より近い活動場所はないかとの要望もあり、高崎市の観音山公園での活動を考えており現在市と調整中です。結果が出れば詳しくご案内します。

以上

自然環境部会長 田中 和夫



地域イベント報告

水や生物の変化について体験する「水の旅」の実施

温暖化防止活動推進員のエコリーダースキルアップ研修で提案された「水の旅」を1月14日に地元の生品小学校の生徒を対象に環境アドバイザーもサポーターとして参加し実施しました。

目的：川の源流(水源)から下流迄の水質や生物の変化を調査し生活が環境に与える影響を確認する。

日時：2017年1月14日(土) 9:00~11:00

調査場所：太田市内を流れる大川の水源(重殿)、中流、下流(石田川との合流点)

参加者：生品小学校の土曜スクールの生徒7人と先生・サポーターの合計17名

内容：・群馬県環境政策課から借用したエコムーブ号のパネルで水について説明。

- ・重殿水源に移動して採水とサンプルの採取し、行政センターに戻りで水生生物や珪藻を顕微鏡で観察。
- ・自宅から持参した米のとぎ汁と採水した水をパックテスト(COD)で汚れを比較。

結果：・自分で採取したサンプルの生物が顕微鏡で見え参加者は感激していました。

- ・顕微鏡の画像をディスプレイに表示できたので説明がし易かった。
- ・珪藻の専門家の中島センター長に指導説明して頂き内容の濃い研修となった。

その他：・土曜スクール時間内で実施したために2時間の時間制限があり中流、下流の水質検査や観察は出来なかった。(サンプルはスタッフが事前に採取済)

- ・今回サンプルの採取は浅い川で行ったが、中流や下流で行う場合は安全面も考慮する必要がある。
- ・上毛新聞の取材もあり翌日の15日に掲載されました。

また6月17日には太田市、地球温暖化防止推進活動センターと協働で石田川を対象に実施予定です。興味ある方は参加をして下さい。



採取したサンプルの観察



顕微鏡でみた珪藻

太田市 西村 豊

アースデイ in 桐生 2017 開催！！

日時：平成29年4月23日(日) 10:00~15:00

場所：〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

地球環境に優しい暮らし方について、みんなでいろいろと考えて体験する「アースデイ in 桐生 2017」が、桐生市天神町にある群馬大学理工学部キャンパスで行われますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

地域イベント報告

リユース食器を使用（試用）してみました

行動する環境アドバイザーとしてごみ発生量の削減に向かってもう一工夫何か出来ないか考えた、そして町内のイベント「金古 6 区の 2 秋祭り」でのごみ減量を考えた。秋祭りでは幾つかの模擬店が出され多くの発泡スチロール容器が使用されそれがごみとなって出され、イベント終了時はごみの山である。

タイミング良く伊勢崎市で「リユース食器フォーラム IN ぐんま」が開催され状況把握が出来た。

エコイベントにすべく早速地区の区長さんに提案したが使用には経費も掛かる事でもあり良い返事は貰えなかったが、再度高崎地区では初の使用である事やごみ減量の必要性を説き了解を頂いた。

リユース食器の拠点が伊勢崎市であり東毛地区では助成金のカバーも整備されているが高崎市ではこれからという状況である。

実際の使用は平成 28 年 10 月 16 日の「地区秋祭り」のけんちん汁容器にリユース食器 300 食（20 円／個）を利用しごみ発生抑制アピールや実際に 300 食分のごみ減量に効果があったが、食器の受取りや返却に経費が掛かり又、イベント時に容器受け専任スタッフが必要とか若干のリスクがあった。容器は 1 個 20 円だが

容器単価 20 円×300 食＝6,000 円

容器受取返却燃料代 ＝1,600 円

合計 ＝7,600 円

経費を含めると **25 円／個**となってしまう。

祭り当日は地元議員さん・環境アドバイザー高崎地区会や、ごみ部会の皆さんにもご参加頂き状況を体験して頂いた。ごみの発生抑制にはおおいに効果があるが自治体の理解が無いと容器使用の継続は疑問である、行政の支援を強く要望したい。



返却場所

リユースコーナー



ごみは割箸のみ



高崎市 藤森昇

地域イベント報告

平成 28 年 9 月～29 年 3 月 安中地区の活動状況報告

1. 環境アドバイザー安中地区連絡会《延べ参加者数：17 名》

① 実施日：9 月 3 日（土）、11 月 26 日（土） いずれも 14 時～16 時
1 月 28 日（土） 15 時～17 時

② 会場：安中市板鼻公民館

③ 内容：アドバイザー活動状況報告、環境問題に関する情報交換、市のごみ減量策について意見交換、今後の活動について

2. 『安中市福祉ふれあいまつり 2016』《参加者数：9 名》

① 主催者：福祉ふれあいまつり実行委員会、安中市社会福祉協議会

② 実施日：平成 28 年 9 月 18 日（日） 9 時～15 時

③ 会場：安中市スポーツセンター

④ 内容：『環境学習コーナー』のブース出展や来場者へのごみ分別指導。地元の環境保全団体と連携。地元の 2 校の高校生の協力を得て実施。会場で発生するごみを分別指導し、イベントごみの減量とごみ分別の周知・家庭での実行を呼びかけた。

⑤ 環境アドバイザーの関わり方：ふれあいまつり実行委員として参加。ごみの分別、マイバッグキャンペーンとしてマイバッグ持参啓発活動を実施（アンケートとポケットティッシュの配布）

3. マイバッグキャンペーン 店頭啓発活動《延べ参加者数：16 名》

① 主催者：環境アドバイザー連絡協議会 安中地区

② 実施日：11 月 15 日（火）、12 月 6 日（火） 9 時 30 分～14 時 15 分

③ 会場：安中市内スーパー 4 店舗、メガドラッグストア 1 店舗

④ 内容：県の呼びかけによる店頭でのマイバッグ持参の啓発活動

スーパーは店舗により持参率が大きく異なる（30%～75%）。メガドラッグストアは持参率：10%以下であった。

⑤ 環境アドバイザーの関わり方：アドバイザー安中地区、環境団体との共同実施

4. 安中市との環境懇談会《延べ参加者数：33 名》

① 主催者：安中市環境政策課、環境アドバイザー連絡協議会 安中地区

② 実施日：10 月 6 日（木）、12 月 8 日（木）、2017 年 3 月 3 日（金） いずれも 13 時 30 分～16 時

③ 会場：安中市環境政策課（碓氷川クリーンセンター会議室）

④ 内容：資源化分別作業見学と市のクリーンセンターの改修工事に伴うごみ減量施策について提案と意見交換を行った。今後も継続して行う予定。

④ 環境アドバイザーの関わり方

：環境アドバイザー安中地区、環境団体と市環境政策課が出席



〔安中地区 吉澤 敏則〕



マイバッグ店頭啓発活動の様子（2016 年 11 月 15 日）